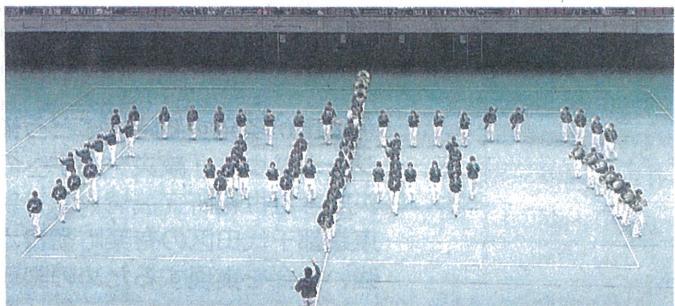
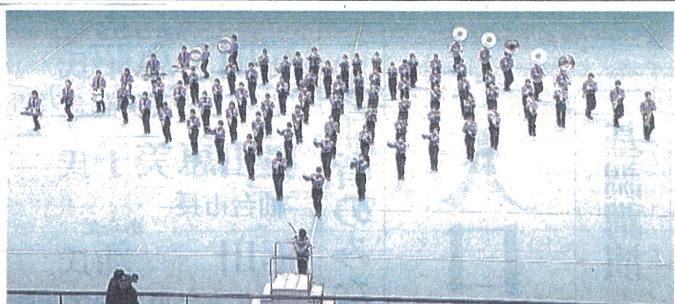


# 尾張

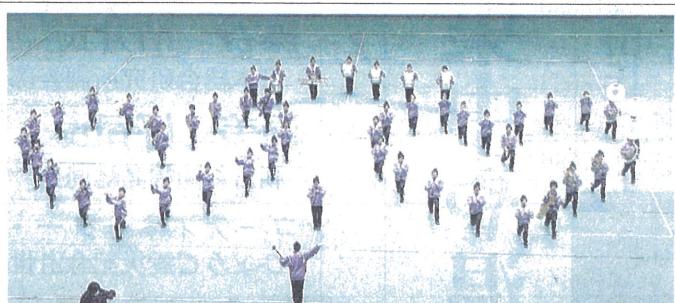
県立木曽川高



愛工大名電高



名古屋市立北中

ご希望により教室での撮影撮影可  
ヨコ・ヨコ・ヨコ  
0120(45)5959(代)古屋本社  
道センター地域面  
052-231-0965  
FAX 231-0391  
メール：  
ichi-mytown@sahi.com  
県内支局  
宮 0586-71-7131  
FAX 71-7130

since 1958  
音楽の伝統・中部教育グループ  
日本で最初の教師センター

**名古屋家庭教師センター**

中学受験と高校受験に圧倒的強さ!

かれた第26回全日本マーチングコンテスト(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の中学校の部と高校以上部に県内から東海支部代表として4校が登場し、安城学園高が金賞に輝いた。木曽川高と愛工大名電高はいずれも銀賞で、名古屋

大阪城ホールで24日に開かれた第26回全日本マーチングコンテスト(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の中学校の部と高校以上部に県内から東海支部代表として4校が登場し、安城学園高が金賞に輝いた。木曽川高と愛工大名電高はいずれも銀賞で、名古屋

市立北中は銅賞を受賞した。

3年

連続出場の安城学園

高は華やかな「セレモニアル・マーチ」と、鐘の音色が印象的な「シンフォニエッタ第2番『祈りの鐘』」を81人で演奏。隊列がどんどん変わるスピード感のある演技で会場をわかせた。

愛工大名電高は「春の詩一風の丘の物語」をさわやかに演奏。春の情景から始まつて夏、秋、冬を経て再び春が訪れるまでを表現し、3拍子のマーチングにて緩急をつけたりズムと多彩な音色で大都市を表現し

た」と話した。  
木曽川高は1曲目の「ブルー・マリン」で軽快なりズムを刻みながら高揚感を演出。続く「ヴィークエンド・イン・ニューヨーク」で緩急をつけたりズムと多

いた音のブレンドがきれいにできた。最高の気分です」とドラムメジャーで部長の遠山翔大さん(3年)。

名古屋市立北中は昨年に続き2回目の出場。「オリンピック・東京大会ファンファーレ」「オリンピックマーチ」など4曲を元気よく演奏した。2020年の東京五輪開催を意識した冒頭の「TOKYO」と、最後の「2020」の人文字が観客の注目を集めた。部長の村山愛香さん(3年)は「練習は厳しかったけれど、その成果が出せたと思っています」と話した。

部長の田中環さん(3年)は「冒頭のファンファーレが決まり、いい流れができるた」。先導役のドラムメジャー中川舞香さん(2年)は「終わってみると一瞬でしたが、心から楽しめました」と話した。

部長の堀江香奈子さん(3年)は「整然とした1曲目と、雑踏を思われる2曲目の曲調が伝わるよう、演奏もフォーメーションも工夫しました」。



JR 東海

尾張一宮駅  
OWARI-ICHINOMIYA STATION